

政権の私物化目に余る

1億5000万円を聞く

前法相夫妻逮捕

—広島市出身で、東京地検などで検事を務められた後、自民党に請われる形で参院議員を二期務められた。元法相の河井克行容疑者（広島3区）と妻の案里容疑者（参院広島）による大規模買収事件の受け止めを聞かせてください。

逮捕容疑のように金で票を買おうとしたのなら国民を愚弄した行為だ。ただ検事を15年やった私の経験から言えば、夫妻の逮捕はハードルが高いと思つた。—どう思うのですか。

弁護士 佐々木知子さん



「買収の原資を探るのは検察捜査の基本」と指摘する佐々木さん

佐々木・ともこ 55年広島市生まれ。父の転職で2歳で神戸市へ。神戸大法学部卒。83年検事任官。東京地検公判部キャップを最後に退官し、98年から参院議員1期。自民党女性局長や厚生労働政務官を務めた。04年、東京都内に弁護士事務所を開業。05年から帝京大法学部教授。

この手の事件は被買収者、つまり金を受け取った側の供述を固めないといけない。相手の地方議員や首長は有罪となれば公民権停止だ。政治生命の危機を前にして簡単に認めないし、そもそも交付時期が地方選の際なので、買収の趣旨だとの認定が難しい。実務では公示後の選挙運動期間内に絞っているのが実情。捜査の進展に大きかったのは買収リストが見つかったことだ。夫妻はパソコンのデータを削除したよ

公金の使い道明らかに

うだが、捜査機関の復元技術は上がっている。

交付罪難しい

—夫妻が配った金は約2570万円に上ると検察当局は逮捕時に見ています。どこから出た金か。原資を探るのは検察捜査の基本だ。自民党本部が夫妻に提供した1億5千万円との関係もいずれ明らかになる。案里容疑者を何からでも当選させたかったからだろう。

ただ一部に言われる買収目的の交付罪には問えないと思う。党本部が「買収に使え」と夫妻に渡したとはいえないからだ。いずれにせよ党総裁の安倍晋三首相には説明責任がある。黒川弘務・前東京高検検事長の定年延長問題もそうだが、今は1強が行き過ぎた結果か、政権の私物化が過ぎるよ

—賭けマージャン問題で辞職した黒川氏と検事任官が同じ年と聞いています。1983年任官の同期。

ある人が「能吏だが正義がない」と表現をされた。克行容疑者を法相に起用したのもどうかと思うが、黒川氏の無理筋な定年延長を閣議決定したのは「官邸を巡るさまざまな疑惑を捜査させないためだったのでは」と言う人も多い。

検察よく捜査

—古巣の自民党や安倍首相にも容赦ないですね。村憲はそもそもしない。「総理枠」で政界に入ったのは橋本龍太郎首相時代。98年の参院選で比例代表名簿の比較的上位に置かれた。検事時代、政界といえは闇のマイナスイメージがあつたがバッジを付けた以上、法務委員会などで懸命に働いた。議員を辞める際

に残った政治資金を派閥に寄付して、当時の亀井静香会長に感心された。

—事件を立件した検察当局をどう評価しますか。

確かによく調べたが、過度に褒められても困るのは。法と正義に基づき当然の仕事をしただけ。捜査なら何でもやれるということではない。

公選法改正などで本来あり得ない買収がなぜ、広島で起きたのか、明らかにしてほしいし、公金の使い道はきっちり検証してもらいたい。

（聞き手は下久保聖司）